

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2018.05.No249

5月号

目次

第四期ヘリテージ・マネジメント 専門職育成講座報告について……	1
新入会員紹介……	2
実行委員会報告……	3
地域貢献活動センター報告……	4
青年・女性の窓……	6
[No.86 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
Coffee Break……	7
information……	8

URL <http://www.h-ab.com/>

— ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座 — 平成29年度第四期育成講座報告について

ヘリテージマネージャー特別委員会 委員 川原 昌彦 (札幌支部)



ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座は、歴史的な地域資産等の有効活用を進めていくことを目指し地域の財産として次世代に継承されるよう、それら地域資産を活かしたまちづくりを支える専門家の育成を目的とし、平成26年度の第一期講座からはじまり、昨年度の平成29年度講座において第四期となりました。

平成29年度第四期育成講座

主に建築士であるヘリテージ・マネージャー（HM）11名と、主に一般市民のヘリテージ・コーディネーター（HC）9名の計20名が誕生し、これまでに86名のHMと、40名のHCの合計126名が誕生しています。

講座は、保存活用・実測実習等々の多岐にわたる内容について講義が行われます。その中の一つの講義「歴史的建造物・資産の保護事例視察」として、講座期間に、タイミング良く工事の最中であった旧三菱鉱業寮（昭和12年ごろ築）の全面的保存修理工事（耐震改修を含む）の見学を行いました。その後には、サッポロビール博物館の見学も行い親睦をはかる目的で懇親会を開催いたしました。



見学・懇親会を行ったサッポロビール博物館

また、受講生は班に分かれ、調査対象を探し調査実習他を行い、最終講義「私が見つけた文化財」にて、その報告を行っていただきました。第四期においては、A～D班の4班が、①札幌市内の昭和初期築の商店兼用住宅、②地域の歴史を伝える昭和9年築の神社、③美唄の地に建つ昭和33年築である往時の炭坑の繁栄を偲ばせる住宅や、④大正期に建てられたと伝わる小樽の洋館の報告発表がありました。

フォローアップ講座（釧路・稚内・羽幌）

平成29年度においては、HM及びHCのスキルアップや相互交流を目的として開催されるフォローアップ講座を、3ヶ所の地で開催いたしました。

①釧路市では、本行寺境内太子堂・職能資料館や旧五十嵐邸を見学し、この地における越後間瀬大工の果たした功績や、その流れを汲む方々が今も続ける太子講などの活動にふれ、②稚内市においては、旧瀬戸家住宅、旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊幕別送信所を見学し、歴史的建造物の保存活用に関するまちづくり活動について学びました。③羽幌町では、羽幌町郷土資料館（旧簡易裁判所）やE邸等を見学し、この地での産業を背景とする文化と建築とのかかりについてふれました。



①旧五十嵐邸



②羽幌町郷土資料館

新入会員紹介 ようこそ建築士会へ

一緒に楽しんで、学んで、そして発信しましょう！

建築士が増えるように頑張ります！

長 剛志（小樽支部）



■勤務先：北海道小樽工業高等学校 定時制 ■仕事内容：教諭 ■入会年月日：平成30年2月1日

■自己PR：

小樽支部に入会させていただいたばかりです。毎年、建築士会より高校生の卒業生表彰でお世話になっておりました。これからは私も何か貢献できないかと思い、入

会を決意しました。工業高校で建築の教員をしております。趣味は、野球・アイスホッケー・スキーなど身体を動かすことが好きです。これからは建築士会の活動や勉強会などで学び、建築に興味を持

つ若者が一人でも増えれば良いな～と考えております。わからない事だらけですが、どうぞご指導よろしくお願ひします。

よろしくおねがいします

酒井 高史（日高支部）



■勤務先：浦河町役場 ■仕事内容：町有施設維持管理、補助制度審査等 ■入会年月日：平成29年5月

■自己PR：

札幌の建設会社に就職し、施工管理をメインに働いていましたがこの度ご縁があり、地元の浦河町役場に就職し、これを機に建築士会へ入会しました。これからは建築士会の活動に積極的に参加をし、交流、勉強したいと思っています。仕事、建築士会を通し、地域社会に貢献していきたいと考え

ております。ゆくゆくは一級建築士の取得を視野にいれています。

まだまだ若輩者ですが、よろしくお願ひいたします。



～日高支部 親睦パークゴルフ大会～

建築士会に入会して

小澤 浩樹（中標津支部）



■勤務先：中標津町役場 都市住宅課建築指導係 ■仕事内容：確認申請業務 ■入会年月日：平成30年2月1日

■自己PR：

このたび建築士会に入会させていただきました小澤浩樹と申します。私の勤務している中標津町は道東に位置しています。中標津町を含む根室管内においては、昨今問題となっております、建設業界の人手不足や有資格者の減少が当町においても同じように深刻な問題であると実感しています。私自身は、釧路高専を卒業し、中標津町にご縁があり勤務をさせていただいておりますが、卒業後すぐに

建築士に合格したわけではなく、合格までに少々時間がかかってしまいました。実際に現場を見て、知識に関連付けることができなかったのが原因のひとつではないかと思ひます。これを機に、今後は建築士会を通して、様々な建物に触れ、諸先輩方のお話を聞けることで更に知識を増せるのではないかと思ひています。

普段から関わりのある管内の建築行政の方々や設計事務所の方々はとても親切なので業務外でもお

付き合いの機会が増えますので、色々な地域のお話や管内の建設業界のこれからなどについて意見の交流を持てるということも楽しみの一つであります。今後は若手有資格者として、先輩方が作り上げてきたものを継承し、次の世代への架け橋になれるように努めさせていただきますので、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

地域主導型

被災地応急支援委員会

副委員長 **金谷 祐** (小樽支部)



新体制での委員会活動がスタートしました。

北海道建築士会主催での応急危険度判定机上訓練が定着してきた中で、新規登録と更新登録の認定講習となり、最初の講習会を1月に北空知支部で開催しました。参加していただいた北空知支部の皆様、ありがとうございました。担当の委員として、講師として、応急危険度判定業務への理解を委員会全体で深めていき、会員の皆様にわかりやすく伝えていく努力をしていきます。今後ともよろしくお祈いします。

判定活動を地域が主導的にできるようにする事が望ましいと考えています。委員会発足時から、各自自治体と支部の活動連携協定を推進してきました。現在、恵庭支部・札幌支部・北空知支部(深川市、幌加内町、秩父別町、雨竜町、沼田町、妹背牛町、北竜町)の3支部が9市町村と協定を結んでいます。協定を締結する事によって、協力要請の手続きの簡素化、判定士に対する補償制度の適用が可能となります。各支部で検討をお願いします。災害支援は地域貢献です。

行政機関との連絡体制の整備はもちろんの事、建築士会内部の連絡体制の整備も急務です。以前より会員の皆様に被災地応急支援ネットワークの登録をお願いします。登録者には2年に1度毎に連絡先の確認をしています。基本、会長及び被災地応急支援委員長より支部長に派遣要請がいきます。支部長はネットワークの判定士に意向を確認し、判定士への行動開始を要請するという流れになります。昨年末での登録者数が271名です。各支部で、登録者名簿の確認と把握をお願いします。北海道建築士会で、全179市町村をカバーできる広域連携を目指していきます。ご意見、ご要望などありましたらお聞かせください。

現地に行ける、行けないは別として、被災地に対する思いを応急危険度判定士取得と支援ネットワーク登録という形で表現していただけだと思います。今年は道南ブロックと道東ブロックで講習会を開催します。多数の参加よろしくお祈いいたします。



机上訓練の様子

2019年9月21日

総務委員会

副委員長 **山田 良彦** (函館支部)



2019年9月21日(土曜日)が第62回建築士会全国大会・北海道大会(於:函館市)の開催日となった。メイン会場は「函館アリーナ」。ここではあえて和暦は使わないことにする。

とうとう来年に迫り、今年の埼玉大会では次回開催地アピールをする年でもある。

今大会は約2,700名の参加を予想しており、函館という観光地でもあるため参加者増が見込まれている。一方では近年諸外国からの観光客が増え宿泊施設のキャパシティー不足と宿泊費の高騰が懸念される。また、気の早い方はそろそろ宿を押さえているらしいとか…。

なお、この全国大会に向け、函館支部総会にて支部役員任期を1年延長して対応することとした。

また、これにより本部役員任期との整合も取れることになる。

現在大会運営のパートナーとなる旅行代理店の選定が進み近々決定する。その後大会運営の詳細を協議決定していく段取りである。

予定している行事と流れを羅列すると、

大会テーマ

リクロス みらい

・ Re + ~明日のまちに輝きを~

大会前日 2019年9月20日(金)

- ・ 記者会見
- ・ 連合会理事、会長合同会議
- ・ 建築士(青年)フォーラム等
- ・ 全国HMネットワーク協議会総会
- ・ 会場設営

大会当日 2019年9月21日(土)

- ・ 総合受付
- ・ セッション(1~6)
- ・ 全国ヘリテージマネージャー大会
- ・ 記念講演
- ・ 大会式典
- ・ 大交流会
- ・ 各種パネル展示
- ・ 昼食
- ・ 企業出展ブース
- ・ 函館、北海道物産展示

大会後日 2019年9月22日(日)

- ・ エクスカーション
- ・ 会場撤収等

である。

地域貢献活動基金助成事業 2棟連なる円形校舎を後世に



室蘭支部 吉田幸恵

この度は「旧絵鞆小活用プロジェクト」に助成を頂きありがとうございます。お陰様でより多くの方にこの2棟連なる絵鞆小学校を知っていただく為のパネル製作と講演会を行うことが出来ました。



旧絵鞆小学校

円形校舎の設計者は、戦後、円形にこだわり円形の建築を数多く生み出している坂本鹿名夫氏です。全国的に見ても現存する円形校舎は年々減少しているのが現状であり、2棟連なるものは希少です。なぜ円形にこだわってきたかという理由を、設計者自身の作品集の中で読み取れる一文があります。

『「建築というものは、人の一生を容れる器である」と思う。従って、その器によって人の一生或いは生命そのものが可成りの影響を受ける・・・私は建築の美は、機能美に終始すべきもの。工業の最も経済のものである』

円形校舎の長所は、管理し易い・歩行距離が短い・敷地面積に対し収容力が大きい・経済的と挙げています。当時の工事金額も掲載されており、1956年設計の江別小学校の円形校舎1棟(現存せず)は、1,770㎡で2,300万で完成したとあります。当時の物価は、大学卒の初任給が、8千7百円の時代です。円形校舎の教室は、扇形になっており、黒板が中心側にあり、教壇に立つ先生から、児童の顔が全員見えるように考えられています。



扇形の教室

この3年間、魅力的な円形校舎を2棟共保存活用したいという思いで活動して参りました。製作したパネルは、旧絵鞆小学校の歴史や建築の魅力、卒業生の思い出の数々や学校の怪談、今まで集めてきた市民から寄せられた活用案などで構成し、市民活動センター、バスターミナル、大学構内などに展示し、多くの市民の目に触れる機会を頂きました。4月以降は、同じ坂本鹿名夫氏が設計した円形校舎が建てられた江別や小樽での展示を計画しております。



パネル展示の様子

また、去る3月17日に開催しました講演会と活用ワークショップでは、全国の廃校を芸術的に活用している事例を調査し、又、北海道でアーティスト・イン・レジデンスの活動をしているNPO S-AIR代表である北海道教育大学芸術スポーツ文化学科教授の柴田尚先生をおよびして、全国での廃校活用例や活用後の内情、海外でのアートイベントなどのお話をお聞きしました。『アートは価値や機能を失ったものから新たな価値を生み出すのに適している。円形校舎はサーカスの練習場として利用出来る』など、こちらが思いつかない視点などをお話していただき、グローバルな活動をされている柴田先生の感性に触れることが出来、大変実りある講演会でした。その後に行われたワークショップは、卒業生や地元の町内会の方なども参加していただき、活用案やこの地区への展望などを思い思いに語り、関心の高さを感じました。2棟とも保存活用し、地元の宝になっていくよう今後も精進いたします。絵鞆小学校に関わるFacebookページと絵鞆小ラボのHPには活動してきた内容と絵鞆小学校の魅力が掲載されています。ぜひご覧になってくださいませ。

Facebook：室蘭市立絵鞆小学校の円形校舎を2棟とも残したい <https://www.facebook.com/Etomo2015/>
絵鞆小ラボHP：<http://murooran100.com/etomo/>

はこだてこども食堂マイはし作り体験



函館支部 中川 かおり

この度は、「はこだてこども食堂マイはし作り体験」に対し、地域貢献活動基金からの助成をいただき、誠にありがとうございます。この場をお借りして、こども食堂の活動内容とマイはし作り体験の報告をさせていただきます。

■はこだてこども食堂～つくってたべよ いっしょにたべよ～（代表：八百屋すず辰店主 鈴木辰徳）

現在、函館市近郊には複数の子ども食堂が立ち上げられておりますが、地域で一番最初に開設したのが私もスタッフとして在籍しておりますはこだてこども食堂です。

2016年1月に新聞のコラムを見た人、SNSの投稿を見た人、八百屋の常連さんなどが鈴木さんの思いに賛同し、4月にテストを実施後5月よりはこだてこども食堂をスタートさせました。

「手作りの温かいご飯をみんなで楽しくたべませんか。たくさんの人で食卓を囲むとそれだけで気持ちが温かくなり、ご飯がおいしくなります。

（お子さんだけの参加も歓迎です）

そして、いっしょに食べるだけでなく、お子さんたちと少しずつ料理をいっしょに作りたと思っています。ごはんを炊く、おにぎりを握る、みそ汁を作る、食べ物を作る力は生きる力です。みんなでワイワイしながら、おいしく楽しい時間を過ごしませんか。お父さんお母さんが普段忙しく一人で食事することが多い子は特に大歓迎です。」

（八百屋すず辰ブログ：はこだてこども食堂より）

このような趣旨に賛同して、登録スタッフ26名と食材を無償提供してくださる農家さんにパン屋さん、肉屋さんやお米屋さんなどが協力し、2018年3月現在23回目まで無事食堂を続けております。

毎月第3木曜日 調理スタッフは14時30分から準備をはじめ、参加する親子さんたちは16時頃から集まってきます。八百屋すず辰に隣接する町会館を会場にお借りしております。参加費は4歳～小学生は100円、中学生～大学生は200円、保護者とスタッフ（大人）500円です。夕方になると次々と親子さんやこどもだけの参加、おばあちゃんと一緒になど様々な組み合わせで集まってきます。私たちのこども食堂はつくってたべよ、なのであらかじめ子ども達が作業できる調理を用意しています。簡単な野菜をちぎる作業から始まり、食材を切る、かつお節を削る、オムレツを焼く、そしてお味噌汁を作る等できる限りの子ども達のやりたいという声に答えるようにしています。

多いときにはスタッフ参加者合わせて60名を超える人数が集まり、大賑わいとなります。

「いただきます」の合図で食事が始まります。最初の頃は子ども達も好き嫌いを言って食べ残したり

していましたが、もりもり食べる子につられるのか大勢でワイワイ食べるのが楽しいのか、お母さんが驚くくらい食べられる様になったという子もいました。食後は走り回って遊ぶ子、宿題をする子と教える子、片付けのお手伝いをする子など様々に過ごします。参加する皆さんが大勢で食卓を囲むことの大切さを実感されていると思います。

■助成金による活動

「はこだてこども食堂マイはし作り体験」

2018年3月24日北海道建築士会地域貢献活動基金から助成を受け実施しました。



参加者と製作したマイはしを持って記念撮影

- ・午前中こども食堂スタッフと建築士でも団子汁を50人前調理しました。
- ・お昼12時より親子30名、こども食堂スタッフ8名が参加し、函館支部青年部のメンバー12人が手順に沿ってはしづくりを指導していきます。
- ・3時に午前中調理したいも団子汁を全員でいただき、後片付けして夕方4時に終了しました。

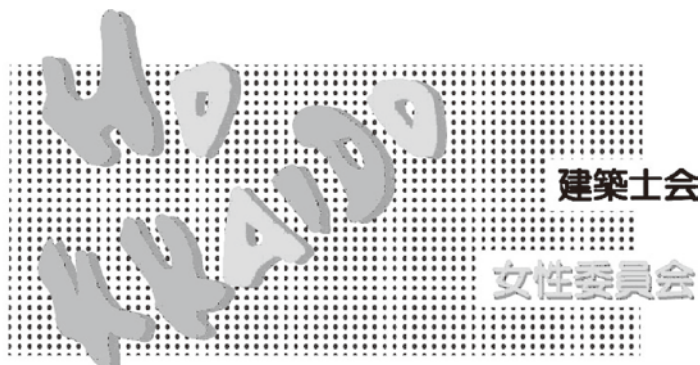
■活動をふりかえって

こども食堂に参加される皆さんに建築士と触れ合っていたいただき、建築士にはこども食堂の活動を知らせていただくという相乗効果を期待しました。

はし作りはものづくり体験としてのどの年齢層でも楽しみ、夢中になることができます。

そしてみんなで食事をし、向かい合った建築士とこども、年配の調理スタッフと建築士が楽しく会話し交流を図っていることを確認しました。当日の活動は北海道新聞の地域情報版みなみ風の取材を受け掲載されました。人と人をつなぐ良い地域貢献活動となりました。ありがとうございます。

No. 86



プロに学ぶ撮影講座と
プロフィール写真撮影会
東 道尾 (札幌支部)

昨年11月18日に、フォトグラファターの原田直樹氏を講師にお招きし、二部構成で実施しました。前半の撮影講座では、原田氏が手掛けた作品の紹介から始まり、おもにスマホ（アイフォン）の便利な操作方法や、建物を撮影するときの水平の取り方、三脚の活用などを学びました。後半の撮影会は、まるで撮影スタジオのように準備された部屋で、3種類用意された背景の前に座っての撮影となりました。ひとりに数十枚の写真を撮っていきましたが、パソコンのディスプレイに映し出される写真は、肉眼では同じポーズでも目や口元の表情がまったく違い、はじめは緊張で固くなっていた目元口元が徐々にほぐれて自然な表情に変わっていくのが良くわかりました。ひとりが撮影しているところは、実に面白くて見入っていましたが、いざ自分の番になると、ガチガチに緊張して顔の筋肉がひきつります。原田氏やギャラリーの仲間たちの声かけで、モデル気分になっていく自分が笑ってきます。出来上がった写真は、皆そのひとらしい素敵な作品になりました。

自分で作った抹茶椀で
お茶を立てて飲もう！

～陶芸に挑戦！
抹茶椀をつくってみよう その後～

中田富知子 (旭川支部)

毎年何かに挑戦する企画、昨年度は、抹茶椀を作ってみよう～でした。(平成29年11月19日・26日に開催) 2日間で18名の会員が参加しとても賑やかなものでした。この企画、全国大会が京都だったので、お土産に抹茶を買ってきてもらってみんなでお茶を飲もうという続きがありました。

3月3日(土) 茶道裏千家准教授 塗師田 宗郁 氏に講師をお願いし、ご自宅へ伺って各自作った個性豊かな抹茶椀を持ち込んでのお茶会となりました。

裏千家の作法を初めての方も、忘れていた方もいましたが、8名が楽しく参加しました。

まず、茶室の入り方からです。扇子を前に置き、手が入っていきます。

掛け軸・生け花・香炉を拝見、炉を拝見してから茶器の拝見へ。季節によって炉が変わって知っていましたか？茶器に位があるって初めて知りました。細かい決まりごとがたくさんあって今回はさわりだけ教わりました。



まずは茶室への入り方から

先生に薄茶を点ていただき、教わりながら飲みました。常に感謝するんですね。



お懐紙にお菓子を取るのも難しく…ギクシャク 主菓子にもチャレンジ

次に、薄茶を点てたのですが、ギクシャクとロボットの動きのような点て方になってしまい、なかなか泡立たない…。



茶筌の扱いを教えて頂きながら

やっぱり、先生の点てたお茶の方(京都からのお土産のお抹茶は金粉入りでした)がおいしい。とても有意義な時間でした。また挑戦したいです。



自作の茶碗と一緒に



プロによるポートレート写真

紋別支部

どうぞよろしくお願いたします!!

支部長

稲葉 宏剛



初めまして、今年度の支部総会で支部長に選出されました稲葉です。どうぞ宜しくお願いいたします。

2015年に紋別で開催された第40回全道大会では、全道の仲間の皆様に大変お世話になりました。私もスタッフの一員として取り組みましたが、多くの参加者・関係者に支えられ、無事開催にこぎ着け滞りなく終えられたこと、今も鮮明な記憶として、心に留めております。

それから、早3年、高野前支部長からバトンを渡されまして、責任の重さに、身の引き締まる思いです。各支部の諸先輩、会員の皆様の引き続きのご支援を賜れば、幸甚に存じます。

さて、今冬の紋別は、幸いに暴風雪に見舞われることもなく、例年より降雪量は多かったものの、

穏やかにシーズンを終えることができました。3月下旬の気温上昇により、雪解けが早いものの、この号が発刊される5月初旬では、地域によっては大雪による影響が残っていて、本格的な工事着手にかけられない状況もあろうかとご推察いたします。本年度も、活気があるなかでも心穏やかに、過ごされるようご祈念いたします。

この場を借りて、少しPRをさせていただきます。本年8月25日(土)～26日(日)の日程で、「第11回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inもんべつ」が開催されます。全国のみなとオアシス(登録数104団体)は、港から地域の賑わいを創出するため、市民・関係者と連携し活性化に寄与する目的で活動しています。

大会では、各港の海産物など名産品を用いた“Sea(海)”の要素含む「美味しいもの」が大集合します。ステージイベントも盛りだくさん、現在、みなとオアシスもんべつ、民間団体、行政などで実行

委員会を立ちあげて、準備を進めています。行政側の立場で、実行委員会の事務局長を仰せつかっており、多くの皆様においでいただき、楽しんでいただけるような大会にしたいと考えております。また、開催記念「北海道一周・Sea級クルーズ」として8月22日～29日の日程で、道内6港を高速フェリー『ナッチャンワールド』で結ぶ事業を(株)紋別観光振興公社が主催し、予約販売をはじめとしています。北海道一周や区間利用、マイカー乗船も可能です。



8月は上旬に帆船寄港のプレイベントもあり、「みなと月間」となります。是非是非、紋別にお立ち寄りいただき、オホーツクの短い夏をご堪能ください。

桧山支部

支部の活動から

支部長

佐藤 久



平成29年の主な事業は2月の支部総会に始まり、7月の「建築の日」に向けての江差北前船競漕大会に参加し支部のアピール。継続事業(平成22年～)として江差小学校6年生を対象に江差景観ワークショップの開催(7月学校内及び8月には一休み公園での実施一地域貢献活動)。

8月26日～27日 当支部での大きな取組みとして38回目となった支部間交流「青函桧交流会」の実施。今回は奥尻島に宿泊する日程で26日の朝、バスにて木古内駅で青森支部の皆さまの出迎え→江差フェリーターミナル着(青森、函館、桧山支部合流 フェリーターミナル前で記念写真)→開陽丸を見学→フェリーに乗り奥尻フェリーターミナル着→フェリー広場で開催の産業祭りに参加、地元食(奥尻牛の焼き肉等)を堪能→奥尻津波館を見学(平成5年7月12日発生した北海道南西沖地震の記憶やそこから学んだ教訓等にかかるものを展示し伝えている。地震、津波の凄さ、怖さを改めて感じた。)→奥尻ワイナリー(見学と

試飲)→湯ノ浜温泉ホテル緑館(神威脇温泉保養所浴場からの日本海の眺めは絶景。島ならではの料理と夫々持参の酒を酌み交わす懇親会でした。) 27日 ホテルから奥尻フェリーターミナル→江差フェリーターミナル着→乙部町光林荘「宿泊体験施設」(木造で地域材を使用し構造は、カラマツ、ヒバ、トドマツ、内装には、ヒバ、スギ、トドマツを取り入れ木材のぬくもりを感じさせる「バリアフリーホテルあすなろ」(全国初のソフト・ハード面ともに完全バリアフリーホテル))の見学→元和台海浜公園(「海のプール」バリアフリービーチ)見学→レストラン元和台で昼食→乙部産業祭りでは新琴似天舞龍神YOSAKOIソーランのパレードの見物と会場での飲食を楽しむ短い時間での産業まつりを過ごし、乙部町で桧山支部と別れ→木古内駅着 道の駅「みそぎの郷」にてお土産など買い求めた後、青森、函館支部とは、次回青森での再会を楽しみに別れを告げた。9月の江差産業祭りでは、桧山振興局建築指導課の方々と一緒に子供を対象に林務課から提供を受けた道南スギを使用したイスの製作を協同作業。9月30日には第42回全道大会(後志大会)に参加。ニセ

コエリアの国際観光リゾートとしての地域をB分科会参加のなかで見学、説明、デイスカッション等を通じて今後につながるのかを興味深く見守りたいと思います。10月8日 四会交流親睦パークゴルフ大会が江差柳崎パークゴルフ場で函館、桧山支部、そして事務所協会のメンバーで行われた。ナイスプレーの連続で互いに健闘を称えました。10月11日 住教育出前講座(江差高等学校-3クラス、上ノ国高等学校-1クラス)が行われ、生徒達の授業の取り組み、プランを進めていく中での、個々に真剣に向き合う姿勢に感動。将来の建築士誕生を期待。12月8日 第60回全国大会京都大会に参加。来年(2019)北海道大会函館開催に向けての事前視察と見学を兼ねて、大会受付、各セッションの会場、各ブース、記念フォーラム、大会式典、大交流会等を回りました。函館ならではの内容で大会成功を!



札幌市として第1号!! 景観整備機構の指定を受ける

まちづくり委員長 針ヶ谷拓己

北海道建築士会は、平成27年に景観行政団体である北海道より景観整備機構の指定を受けておりますが、その次は、札幌市へアプローチを進め、ついに3月30日その指定を受けることができました。

景観整備機構とは、景観行政団体（北海道、札幌市、函館市など17市町村）が、市民による自発的な景観まちづくり活動の推進を図るため、一定の能力を有する一般社団法人等を指定し、景観法に定められた業務について、お互い連携をとりながら良好な景観形成の推進に取り組んでいくというものです。景観法で定める景観整備機構の業務のうち、北海道建築士会が日頃から取り組んでいる下記3項目を業務範囲として指定を受けたところです。

- ① 良好な景観の形成に関する事業を行う者に対し、当該事業に関する知識を有する者の派遣、情報の提供、相談その他の援助
- ② 良好な景観の形成に関する調査研究
- ③ その他、良好な景観の形成を促進するために必要な業務

景観整備機構の所管窓口は、本部まちづくり委員会となりますが、その業務内容によっては札幌支部のまちづくり委員会にもお世話になりますので、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

※他の支部でも、景観整備機構指定のお話がありましたら、どしどしご連絡ください!



指定交付式 札幌市の中田都市計画担当局長（左）と高野会長

CPD認定プログラム(4月認定)

◆平成30年 青年建築士の集い

《日程及び会場》 5月19日(土) 15:40~17:45
知床自然センター(斜里町)

《単位数》 2単位

《問合せ先》 (一社)北海道建築士会 TEL 011-251-6076

道士会の動き

道本部の主な会議報告(4月)

◆第1回情報委員会

《開催日》 4月7日(土)

《議題》 1) 平成30年予算及び事業計画 他

◆第1回青年WEB会議

《開催日》 4月14日(土)

《議題》 1) 青年建築士の集い 他

◆第1回総務委員会

《開催日》 4月28日(土)

《議題》 1) 平成30年一般会計収支予算の補正 他

関係機関等会議参加予定(5月)

24日(木) 日本建築士会連合会正副会長会議 高野会長出席

25日(金) 日本建築士会連合会理事会

高野会長出席・吉木副会長出席

道本部の主な行事予定(5月)

■第3回理事会 (開催日) 5月18日(金)

■青年建築士の集い(斜里) (開催日) 5月19日(土)

5月開催講習会のお知らせ

※詳細はホームページをご覧ください。

監理技術者講習

5月17日(木) 函館市

5月23日(水) 札幌市

建築士定期講習

5月17日(木) 札幌市

5月25日(金) 旭川市

既存住宅状況調査技術者講習

【新規講習】

5月21日(月) 札幌市

5月22日(火) 北斗市

5月23日(水) 北見市



平成30年(一社)北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広く紙面やホームページでアピールしてみませんか。

応募締切 平成30年5月18日(金) 必着

※応募要項等 詳細については、本会HPをご覧ください。

編集後記

「桜前線北上中」

桜の季節が巡ってきました。今年は例年より少し早い開花の様です。北海道で見られる桜は、淡いピンクの染井吉野(ソメイヨシノ)、濃いピンクの蝦夷山桜(エゾヤマザクラ)、背が低く白い花の千島桜(チシマサクラ、別名国後桜)。

さて、今年は北海道命名150年。カイ(海)はアイヌの言葉で「この地で生まれたもの」又は「蝦夷」の音読み、という説があります。桜の名前から北海道の歴史がみえるようですね。

情報委員会副委員長 早川 陽子(小樽支部)

情報委員会委員長/斎藤 勝哉

副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁

委員/熊谷 智・柏倉 晶憲

村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.249号

印刷 平成30年4月/発行 平成30年5月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地

大五ビル

電話 (011)251-6076番

URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎

〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目

電話 (011)811-7151番